

氏名	齋藤恵子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学、助産学、国際看護学				
学位	学士（看護学）、修士（保健医療学）、博士（健康科学）				
学歴	2003年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士前期課程修了、2006年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士後期課程単位取得満期退学、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程修了				
経歴	2003年埼玉県立大学短期大学部専攻科助産学助手、05年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本助産学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本国際保健医療学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本性感感染症学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本国際看護学会（理事）、日本健康学会、日本保健福祉学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	第109回看護師国家試験解答と解説（母性看護学）	共著	あり	医学書院、149ページ	石井邦子、杉本亜矢子、増田恵美、大月恵理子、齋藤恵子、森田亜希子、青木恭子、齋藤未希	2020.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	助産学生対象の新生児ケアの演習におけるCOVID-19感染対策および教育上の工夫	共同		第35回日本助産学会、神戸市（Web開催）	○浅井宏美、山本英子、東原亜希、森田亜希、兼宗美幸、青木恭子、千葉真希子、齋藤未希、齋藤恵子、鈴木幸子	2021.3
2	Web会議ツールを活用した妊産褥婦に対する遠隔実習の実践	共同		第35回日本助産学会、神戸市（Web開催）	○森田亜希子、鈴木幸子、兼宗美幸、東原亜希子、千葉真希子、山本英子、齋藤未希、浅井宏美、齋藤恵子、青木恭子	2021.3
3	分娩介助実習前のICTを活用した遠隔授業とCOVID-19感染対策を講じた演習の工夫	共同		第35回日本助産学会、神戸市（Web開催）	○東原亜希子、兼宗美幸、青木恭子、山本英子、森田亜希子、浅井宏美、齋藤恵子、齋藤未希、千葉真希子、鈴木幸子	2021.3
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費助成事業 若手研究			埼玉県在住の移民女性の出産に関する伝統的プラクティスの認識と実践	研究代表者	2020-2022
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	リプロダクティブヘルスと看護		3コマ	文化や慣習と妊娠出産と助産ケアについて検討した。グループ演習・発表討議ではリプロダクティブヘルスに関する課題について理解し、看護の視点で考察が深められるよう取り組んだ。		
2	グローバルヘルス		3コマ	ジェンダーと健康、リプロダクティブヘルス・母子保健の現状について統計データ、動画や画像を用い、遠隔授業でもグローバルヘルスに関する理解が深められるよう工夫した。		
3	母性看護学Ⅰ		1コマ	周産期の看護と文化について事例を用いながら理解しやすい講義した。webclassを活用し、学生の授業参加を取り入れた。		

4	母性看護学Ⅱ		5コマ	産褥・新生児期の看護過程展開のための紙面事例を作成し、母性看護学領域における看護過程の特徴、特にウエルネス診断についての授業、グループ演習および個別指導を行った。
5	周産期のケア		1コマ	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を行った。助産師の業務の根拠となる法についてが理解できるよう具体例を示しながら説明した。
6	分娩期のケア		1コマ	3年次助産系履修学生を対象に、分娩施設の選択、出産方法の選択、望ましい出産体験のためのケアについて講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	母性看護学Ⅱ		5コマ	看護学科2年次生を対象に、産褥・新生児期の看護過程展開のための紙面事例を作成し、グループ演習および個別指導を行った。新生児の観察のための動画演習教材、褥婦の観察の動画演習教材を作成し、遠隔演習の工夫をした。
2	周産期のケア		6コマ	3年次助産系履修学生を対象に、オンラインによる助産師外来演習(妊娠期の健康診査技術及び保健相談)グループ演習を担当、媒体活用等の工夫して行った。内診演習を感染予防に留意しながら工夫して行った。
3	分娩期のケア		2コマ	3年次助産系履修学生を対象に、分娩第1期のケアの演習のグループ担当した。模擬産婦を活用したより実践に近い形で演習に臨んだ。
4	リプロダクティブヘルスと看護		3コマ	看護学科3年次生を対象に、グループ演習・発表討議ではリプロダクティブヘルスに関する課題について理解し、看護の視点で考察が深められるよう取り組んだ。
5	グローバルヘルス		2コマ	2年次生を対象に、演習・発表討議ではグローバルヘルスに関する理解が深められるよう工夫した。
6	母性看護学実習	○	学外実習： 2020.5～2020.6 学内実習：5コマ	科目責任および実習2カンファレンスを担当。オンライン実習の内容検討運営を行った。実習1はオンライン模擬事例を用いて褥婦および新生児とその家族を理解し、ケア計画立案、実践・評価について助言・支援を行った。実習2はオンラインカンファレンスを工夫し行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	母性看護学実習	○	学外実習(オンライン)： 2020.5～2020.6 学内実習：5コマ	科目責任および実習2カンファレンスを担当。オンライン実習の内容検討運営を行った。実習1はオンライン模擬事例を用いて褥婦および新生児とその家族を理解し、ケア計画立案、実践・評価について助言・支援を行った。実習2はオンラインカンファレンスを工夫し行った。
2	総合実習		学外実習(オンライン)： 2020.7	4年次4名の学生を担当し、学生が自身の実習課題を明確化できるようにオンラインにて支援を行った。
3	IPW実習		学外実習(オンライン)： 2020.9	4年次の他大学2名を含む5名の学生を担当し、学生が自身の実習課題を明確化できるようにオンラインにて支援を行った。
4	助産学実習Ⅱ		学外実習： 2020.8～2020.9	4年次2名の学生を担当し、1施設を担当し、コロナ禍で可能な範囲で実習指導者と調整し、学生の実習進捗度に合わせて分娩介助実習指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4-2021.1	主指導	4名 副指導 名
2	修士論文		主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
3	博士論文		主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	大学院生への研究支援	2020.10	博士後期課程院生の審査前の予演会に出席し、質問等を行った。	
3	助産師としての就職活動支援(交流会)	2020.12	助産コース4年生と3年生の交流会の支援を行った	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	大学院助産学分野「助産学特論X（国際母子保健活動論）」講義担当	国際医療福祉大学大学院助産学分野	諸外国の母子保健の現状を踏まえた助産師活動	2020.6
2	助産師学校「国際助産」講義担当	晃陽看護栄養専門学校助産学科	諸外国の母子保健活動、国際化時代における助産師の役割	2020.12
3	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立鴻巣高校	性教育講演	2021.3
4	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立久喜北陽高校	性教育講演	2021.3
5	埼玉県看護協会一般研修	埼玉県看護協会	ウィメンズヘルス研修	2021.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	独立行政法人国際協力機構（JICA）	技術専門員（助産師）		2019.9～現在
2	越谷市男女共同参画支援センターほっと越谷	リプロダクティブヘルス・ライツ講座企画メンバー		2015.8～現在
3	埼玉県助産師会	理事（財務）		2020.9～現在
4	日本国際看護学会	理事		2020.11～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	埼玉県立大学Web講座	第19回私たちができるSDGsへの取組み：プレコンセプションケアについて		2021.1
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	ガールスカウト埼玉67団	性の健康講座	2020.8
2	地域貢献活動	埼玉県助産師会	勤務部会主催研修会共催支援	2020.12
3	地域貢献活動	埼玉県助産師会	災害対策委員会主催研修会共催支援	2021.1
4	地域貢献活動	埼玉県助産師会	さいたま市部助産師会研修会共催支援	2021.1
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院学生支援委員		2020.4～現在
2	学生支援	3年担任学修支援、進路相談支援		2020.4～2021.3
3	学科等における委員会等	保健師助産師選考委員		2018.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				